

妙高西条農園 おたより

No. 159
7月 号
2025.7.25



今年は梅雨明け前から

稲は南方の植物のため、暑くても水さえあれば旺盛に育つのですが、これから8月上旬の出穂に向かってこのような暑い日がつづくとも米の品質に影響がで、特に白濁り米の発生が心配になります。また、暑さがつづくとかメムシが発生し、秋の収穫したお米に黒い斑点が着いて、品質低下となってしまうます。



稲丈も 70~80cm に生長しました

7月も暑い中行うのが畦の除草作業です

先月も書きましたが、暑い日がつづくとも稲も生長しますが、畦の雑草も、旺盛に生長します。日中の時間帯を避け朝夕の少しでも涼しい時に毎日、除草作業がつづきます。



暑い日も草刈りが続きます

機械で刈れる箇所はいいのですが、条件の悪い箇所では手刈機での作業となります。高校生の孫も休日には、ブッシュクリーナで、応援してくれるので、まだまだ虎刈りもあります。が助かっています。



係の草刈りです

メグスリノキもこの暑さで、毎日の水やりが大変

雑草以外は枯れてしまいうな猛暑の中、メグスリノキの苗木も毎日の水やりが日課となっています。

でも水源から離れた苗木は水やりも出来ないことから、これからの猛暑と降雨がないと、厳しい状況になるのではないかと、心配しています。



毎日の水やりも大変です

猛暑の夏は肝太くんうどん

このうどんは平成11年にメグスリノキエキス入りうどんとして特許を取得したうどん。現在では特許切れとなっていますが、今でも他にこのようないうどんはありません。



夏は冷やしうどんが美味しいです

このうどんには、メグスリノキエキスが多く練り込んであることから、暑さで弱った肝臓を活性化させるので、食欲不振を快復させ、暑い夏を乗り切るには、最適のうどんです。

7月の農作業の動画が下のQRコードから見られます



遅れていた黒ニンニクも

収穫が遅れたため黒ニンニクの生産が遅れていましたが、やっとフル生産ができるようになりました。今年は無農薬栽培の大玉黒ニンニクをお届け出来ると思います。



お米の在庫が0になりました

先月からご注文をいただいても、在庫不足からご迷惑をおかけしてしまいましたが、ついに在庫が0となってしまうました。

発行者
〒944-0023 新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255 72 3497
Fax 0255 72 2908